

# 大銀杏

おいちよう

令和2年7月16日  
夏お盆号 第6号  
発行：日蓮宗圓藏寺

〒330-0054  
さいたま市浦和区東岸町1-29  
電話 048-882-2835  
FAX 048-883-9848  
ホームページ  
浦和 圓藏寺 検索

## 日蓮大聖人のお言葉

人に物をほどこせば

我が身のたすけとなる

譬<sup>たと</sup>へば人のために

火をともしば

我がまへ

あきらかなるがごとし

食物三徳御書

日蓮大聖人のお言葉に触れ、日々の生活の指針を求めたいと思います。  
このお言葉は、弘安元年（1278年）、大聖人57歳の時、身延山より  
信徒に宛てられたお手紙の一説です。

数多くのお手紙を残されている日蓮大聖人ですが、その多くは「お礼状」であるという特徴が見られます。今のように冷暖房もない身延山の過酷な環境に身を置く大聖人を案じて、全国各地の信徒が、農作物などを身延山へとお贈りになりました。そして、大聖人は、感謝の気持ちを込めて、仏様のお教えともにお手紙を認められたのです。

圓藏寺においても、境内の仏具等その多くは檀信徒をはじめ、ご縁をいただいた方々がご奉納くださったものです。お寺というのは、断じて僧侶のものではなく、仏様のもと、皆様で作り上げる皆様の場所なのだと思えます。また、ご奉納いただく度に、申し訳ない気持ちと有難い気持ちで一杯になり、感謝してもしきれません。この場をお借りして重ね重ね御礼申し上げます。

さて、私たちは小さい頃から「お友達には優しくしようね」と当たり前に耳にして育ってきました。しかし、ついつい自分の不甲斐なさから、我が身を守り、相手よりも自分を優先してしまいます。私自身深く反省しております。しかし、大聖人が仰るように、「人のために」にした行いは、実は「自分自身」を助ける行いでもあるのです。その場限りの一時的かつ擬似的かもしれない幸福を得るよりも、相手が笑顔になった時、私たちは本当の幸せを感じるものです。

さらにこのお手紙の続きを見てみますと、もし悪人に施すとこれは返って自分自身の心身が弱ってしまいますと記されています。私は、これを「誰でも人に助けられて生きていくのだから、その事を忘れずに正しい行いをして精進しなさい。」と戒められていますようにも感じるので。新型コロナウイルス、今般の豪雨等を目の当たりにし、私たちは今こそ支え合って乗り越えていく必要を強く感じております。物質的・金銭的な支援ももちろんですが、まずは、自分自身が「悪人」とならないように日々歩むこともまた間接的な支援になるのではないのでしょうか。私自身、日々積み重ねる罪障に深く反省しております。お盆の時期がやってまいります。ご一緒に手を合わせ、自分自身のため、誰かのためのお題目をとお唱えしましょう。（良海）

日蓮大聖人御降誕800年報恩感謝シリーズ1 (全3回)

# 日蓮大聖人の御生涯

令和3年2月16日、日蓮大聖人御降誕800年の節目を迎えます。報恩感謝シリーズ1回目は大聖人の御生涯です。とても1頁で語り尽くせるものではないと思いますが、その足取りを素敵なイラストと共に学んでいきたいと思っております。

## ご誕生 (1222年/1歳)

安房国小湊(現・千葉県鴨川市)で漁師の子としてご誕生されました。幼名を「善日磨」といいます。ご誕生の際には、庭先より清水が湧き出し、浜辺には蓮の花が咲き誇り、海には大小の鯛の群れが現れたと伝えられます。



## 出家得度 (1233年/12歳・1237年/16歳)

生家から10キロ程離れた清澄寺に入り、名を「薬王丸」と改め、道善房に師事します。本尊である虚空蔵菩薩に「我を日本第一の智者となしたまえ」と祈り、研鑽を積みみます。16歳の時、正式に出家をし「蓮長」と名乗るようになります。



南無妙法蓮華經

仏様の教えは一つのはず！なぜ多くの宗派が乱立しているのだろうか？



## 遊学 (1238年/17歳～)

仏法を学び究めるために、鎌倉(17歳～)や京都(21歳～)の諸大寺に遊学し、仏様が本当に伝えたかった事を探します。



## 立教開宗 (1253年/32歳)

ついに32歳の時、『法華經』こそがこの混乱した世を救う唯一無二の教えであると確信。十数年にわたる遊学から故郷の安房に帰り、昇りくる朝日に向かい「南無妙法蓮華經」とお題目を声高らかに唱えになりました。この頃から「日蓮」と名乗るようになります。

## 布教の日々・『立正安国論』述作 (1260年/39歳)

念仏の教えが主流であった中、念仏や禅を痛烈に批判し、法華經への帰依を唱えたため、地頭・東条景信をはじめ熱心な念仏信者に強い反感を抱かれてしまいます。しかし、決して気持ちが揺らぐことはなく、仏様の真の教えを弘めるために「不自惜身命」の覚悟を持ち、布教を続けていきます。39歳の時には、『立正安国論』を鎌倉幕府前執権・北条時頼に上奏。しかし、布教の日々は仏様が予言した通り、法難の日々でもありました。「大難四カ度、小難数知れず」と言われるように数多くの法難に遭われ、ついには、生きては二度と帰れないと言われた佐渡へと御流罪(50歳)されたのです。



法華大難の行者には、あらしは！



## 身延入山 (1274年/53歳)

佐渡流罪を許され鎌倉へと戻った大聖人。その後、再び幕府に法華經信仰を勧めるも受け入れられず、「三度国を諫めて用いられなければ、山林にまじわるべし」という故事にならい、鎌倉を離れ、甲斐国(現・山梨県)身延山へと入山、執筆活動や弟子の育成に努めます。身延山には、弟子・檀越が集まり、多いときには100名を超したとも言われます。



吹く風も揺るぐ木草も流れる水のお唱えしているのですよ。

## ご入滅 (1282年/61歳)

身延山の厳しい環境に、大聖人の頑強な身体も徐々に支障が見えはじめます。ついに、病氣治療のために約9年間過ごされた山を下り、常陸(現・茨城県)へ湯治に向かわれました。その途中、武蔵国池上(現・東京都大田区)の池上郎にて病状が悪化。10月13日、大曼荼羅御本尊を枕元に掲げ、多くの弟子が見守る中、61年のご生涯を閉じられました。



宗祖降誕800年 令和3(2021)年2月16日

※年齢は数え年。 ※イラスト(塩田和香上人/素材常住満2より)

# 奉納感謝

ご奉納感謝いたします。  
大切に使用させていただきます。

●御札立て 1台

川口妙蔵寺 様

(鬼子母神堂に設置)

●裁断機 1台

赤坂 翠 様

●マスク 沢山

小野利恵子 様

# 信仰用品

当山にて取り揃えている信仰用品  
のご案内。それぞれの使い方・内容に  
関してはお気軽にお尋ねください。

## お数珠 三千元

突然のお葬儀やご法事の時にも慌てないように、  
お1人1つ、ご自身のものを持っておきたいもので  
す。副住職が身延山の仏具屋さんを直接訪れて選び、  
当山においてご祈願をさせていただきましたお数珠  
となります。愛着を持っていただくとうと様々なお色  
をご用意しております。



## お経本 (①二百円 ②二千円 ③無料配布)

①携帯にも最適、一般的な法要やご自宅での勤めにも適しています。  
②円蔵寺信行会でも使用。日頃のお勤めから大きな法要まで、必要な箇  
所を幅広く網羅しています。難しいところも多いですが、信行会でご一  
緒に勉強いただけます。③未就学児〜小学校低学年向け。「ひらがな」で  
お経が書かれています。先着約三十部。



# コロナ対応



新型コロナウイルス感  
染予防のため、円蔵寺にお  
いても様々な対応を行な  
っております。  
皆様のご協力によって、  
お寺からの感染は防げて  
おります。今後も感染予防  
に注意し、皆様が安心して  
お参りができるように努  
めてまいります。



## ●接客

アルコール除菌・マスクを玄関に設置し、御参拝の皆様に感染  
予防のご協力をいただいております。法要時等の控え室は、冷房  
を使用しておりますが、扉の一部を開けることで密閉空間をでき  
るだけ避け、定期的に換気にも努めております。

## ●大法要 (彼岸会法要・施餓鬼会法要)

春季彼岸会は山内のみでの法要。盂蘭盆施餓鬼会に関しては、  
別紙ご案内の通り、縮小して法要を営む予定です。卒塔婆申込は  
例年通りに受付をし、檀信徒の皆様のご先祖供養をしっかりと続け  
ております。

## ●法事・葬儀・祈祷

参列者・僧侶共に、マスク着用・手指消毒の対策を強化。また、  
席の間隔を設け、換気を十分に行なった上で法要を営んでおりま  
す。自粛期間中にご命日をお過ぎになってしまった方の法要・卒  
塔婆回向等も引き続き受付けております。ご相談ください。

## ●寺子屋円蔵寺 (写経会・寺ヨガ等)

2月下旬より中止しておりました企画を、6月19日より順次再  
開しております。また、YouTube チャンネル「円蔵寺ティービー  
ー」開設・ホームページから写経用紙ダウンロード・仏様の塗り絵  
ダウンロード等を通じ、ご自宅でもお寺を感じていただける新た  
な挑戦もしております。(詳細は円蔵寺ホームページを参照)  
今後も感染状況により、中止・延期等随時対応していきます。

## ●御首題 (御朱印)

ご好評をいただいている絵入り御首題 (御朱印) は、直書きを第  
一に考えておりましたが、一部書き置きのみに対応・受付時間の  
分散化等の対策を取っております。(詳細 Facebook・Instagram)

# 【第20回】立川談慶 開運落語会



開運落語会は、2017年6月13日に第1回目を開催し、「笑顔を仏様に届けよう! (和顔施)」をテーマに続けてまいりました。また、落語の前には御祈禱を行い、ご参拝の皆様のご厄除開運を祈願させていただく事も特徴の一つとなっております。

立川談慶師匠は、立川談志師匠のお弟子として、第一線で活躍されており、著作活動・メディア出演等活躍は多岐に渡ります。

この度、20回目記念として、同じく落語立川流真打の立川談笑師匠をお迎え致します。この貴重な機会に、是非円藏寺にご参拝いただき、心を潤す時間としていただけたら嬉しい限りです。



2020年8月4日(火)  
 17時半 開 場  
 18時 特別祈禱  
 18時半 落 語  
**特別ゲスト 立川談笑**



## 事前申込制【申込方法】

QRコード、または、浦和円藏寺ホームページよりお申込みください。

※ご質問・お問合せは、円藏寺(担当・加藤良海)まで048-882-2835(9時~17時)

※参加費/祈願料含(一般4,000円・学生2,000円・円藏寺檀信徒3,000円)

当日受付にてお支払ください。ご参加の方に「疫病退散シール型お守り」を授与。

※未就学児童入場不可 ※円藏寺檀信徒に限り、お電話でも申込可。

※全席自由席(最大50席/予定数に達し次第〆切) ※当日席若干予定。



## 暦

こよみ

### 七月(文月)

- 8日(水) 正法会 (午前10時)
- 10日(金) 寺ヨガ (午前10時)
- 16日(木) 写経会 (午前10時)
- 21日(火) 寺ヨガ (午前10時)
- 25日(土) 法話会 (午後1時)

### 八月(葉月)

- 4日(火) **開運落語会** (午後6時)
- 7日(金) 寺ヨガ (午前10時)
- 23日(日) 孟蘭盆施餓鬼会(別紙)
- 25日(火※) オレンジカフェ(仮) (午後1時半)
- 27日(木) 寺ヨガ (午前10時)

### 【ご注意】

○記載のない企画に関しては、新型コロナウイルス感染症状況を確認の上、後日ホームページ・掲示板等にご案内致します。

○記載してある企画に関しても、感染予防のため、急遽中止・延期等の可能性もございます。ご了承ください。

○ご参加の前に、ご自宅にて必ず検温をいただき、体調に不安がある場合はご参加をお控えください。お願いしますようお願い申し上げます。

